

意見書案第2号

平成29年6月20日

木古内町議会
議長 又地 信也 様

提出者 木古内町議会議員 手塚 昌宏
賛成者 木古内町議会議員 吉田 裕幸
賛成者 木古内町議会議員 佐藤 悟

松前半島道路の整備促進を求める意見書

上記の意見書案を会議規則第14条第1項及び第2項の規定により、別紙のとおり提出する。

松前半島道路の整備促進を求める意見書（案）

松前半島道路は、北海道松前町から北海道新幹線木古内駅周辺や函館・江差自動車道茂辺地木古内道路に接続する路線で、平成16年に地域高規格道路の計画路線に指定された。

現道の国道228号は、昭和63年に旧国鉄松前線が廃止となって以降、当該沿線地域の人・物の交通を支える唯一の道路として地域を支えている。しかし、急峻な地形と津軽海峡に挟まれた海岸線に位置しているため、台風や低気圧による大雨や大しけ、落石などにより通行止めがたびたび発生し、北海道新幹線開業を機にした観光や産業振興、高齢化が進む地域住民の生活、医療施設への救急搬送や通院などに不安を抱えている。

このため、災害に強く、渡島西部のブランド力のある農水産物を安全、確実に出荷でき、救急搬送の速達性・定時性を確保し、救命率の向上を図る地域高規格道路松前半島道路の早期整備は、沿線住民の長年の悲願である。

つきましては、本路線の一日も早い整備と開通が確実なものとなるよう強く要望する。

記

区 分	要 望 事 項
地域高規格道路	松前～木古内間（約60 k m）の事業化に向けた調査促進

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

平成29年6月20日

北海道上磯郡木古内町議会
議長 又 地 信 也

【提出先】 内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、国土交通大臣